

スマートシティの実現に向けた技術提案書

様式1

提出年月日： 2019 年 12 月 17 日

提案団体名： 大日本コンサルタント株式会社 (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>①企業のオープンイノベーションを活用したエアリアマネジメント事業の展開 名古屋市錦二丁目地区を対象として、企業のオープンイノベーションを活用したエアリアマネジメント事業の展開を進めている。具体的には、モビリティ・セキュリティ・福祉など都市課題を解決する新しい技術を持った企業の実証実験やプロトタイプ構築に、地域として協力をを行うことで、既成市街地においてスマートシティを構成する様々な技術の国内での早期実装を進めている。愛知県や名古屋市各部局、経済団体などと連携し、官製や新規開発とは違ったスマートシティ化のプログラムを開発している。</p> <p>②次世代モビリティに対応したモビリティサービスの開発 バンコク・タイにおいて複数の大学研究機関や現地企業と連携し、1)小型モビリティによる端末交通シェアリングサービスや2)プローブデータを活用したAIによる短期渋滞予測モデルの開発を進めている。1)では、特に近年開発が進んでいる電動小型モビリティの新たなサービス化の提案を、2)ではMaaSサービスのうち、特にタイムシフト機能の実装のための要素技術として開発を進めており、現在実証に向けた準備を行っているところである。</p>	(7) (2) (6)
(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>①既成市街地における包括的なスマートシティ特区形成と都市ビジネスの輸出 既成市街地が抱えている様々な課題(エネルギー、セキュリティ、モビリティ)等はこれまでの技術による解決は困難なものが多く、新たな技術に対していち早く地域の課題解決にこたえるフィールドを形成することで、住民のQOL向上とスマート化を並行して達成する既成市街地型のスマートシティの早期実現を目指している。また、スマートシティ実現にあたっての課題の一つである様々な規制や地域との合意形成に対し、エアリアマネジメントとして対応を行うことで、国内でのスマート化技術の早期実装を促し、日本発のスマートシティビジネスを生み出し、今後都市化が進む世界に対して都市ビジネスを輸出するための基盤の形成を目指している。</p> <p>②アジアにおけるスマートモビリティの実装 インフラ整備が十分でないアジアにおいては、特にモビリティ課題や渋滞、交通安全は日本よりもさらに差し迫った課題である。これらの地域においてスマートモビリティを実装することで、経済成長の阻害要因を取り除き、効率的かつ生産性の高い都市の実現を達成したい。これにより、交通安全や大気環境など多様な課題の解決を目指し安全な都市づくりにも貢献することを目標としている。</p>	(オ) (サ) (シ) 複合的 (ア) (キ) (ク)
(3) その他	
特になし	

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
事業統括部事業企画部事業管理室	八馬康之	03-5298-2057	hachima@ne-con.co.jp